

令和 3 年度

事業者番号	0042	事業所番号	004202
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	レンゴー株式会社 八潮工場		
事業所所在地	市区町村	八潮市	
	字・地番	大字西袋330番地	
産業分類名(中分類)	14 パルプ・紙・紙加工品製造業		
分類番号(中分類)	14		
事業活動の概要	事業内容	板紙の製造・販売(段ボール原紙、紙管原紙、チップボール)	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	~	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。			
	その他ガス	非エネルギー起源CO ₂ ・メタン・一酸化二窒素をそれぞれ10,000 t CO ₂ /年以下にする。			
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	1,125,675	t-CO ₂	事業所区分 第2区分	
	削減目標量(計画期間合計)	125,075	t-CO ₂		

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	103,584				

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	186,488				
前 年 度 比 (%)	—				
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO ₂	5,122			
	メ タ ン	4,149			
	一 酸 化 二 窒 素	4,712			
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
	三 ぶ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	200,471				

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	0.1957				
前 年 度 比 (%)	—				
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
生産量	t/年	953,107.23			

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	2020年度は2019年度と比べ生産量が減少している為、エネルギー起源CO ₂ が減少している。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	250,150	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	250,150	250,150	250,150	250,150	250,150	1,250,750	
	目標削減率の 緩和措置							
	トップレベル認定	トップレベル	トップレベル	トップレベル	トップレベル	トップレベル		
	目標削減率(B)	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%		
	排出上限量 (C = Σ A-D)							1,125,675
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))							125,075
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	186,488					186,488	
	削減率 (F = (A - E) / A)	25.45%					—	
	排出削減量 (G = A - E)	63,662					63,662	
各年度の排出量の検証		未実施						

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分 中 区 分				
1	370700	電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	1号抄紙機原質スクリーン改造	R1以前	R1以前	536.0
2	370700	電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	7号抄紙機原質スクリーン改造	R1以前	R1以前	584.0
3	329900	ボイラー、工 業炉、蒸気系 統、	32_ボイラー・工業炉・ 蒸気系統・熱交換器 等に係るその他の削 減対策	5号抄紙機プレスパート改造	R1以前	R1以前	3,652.0
4	370700	電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	5号抄紙機原質リファイナー改造	R1以前	R1以前	3,959.0
5	329900	ボイラー、工 業炉、蒸気系 統、	32_ボイラー・工業炉・ 蒸気系統・熱交換器 等に係るその他の削 減対策	5号ボイラーFDF効率化	R1以前	R1以前	440.0
6	329900	ボイラー、工 業炉、蒸気系 統、	32_ボイラー・工業炉・ 蒸気系統・熱交換器 等に係るその他の削 減対策	5号抄紙機プレスパート改造	R1以前	R1以前	3,959.0
7	340500	発電専用設 備、コージェ ネレーション 設備	34_熱の動力等への 変換の合理化に関 する措置	チップボイラ(バイオマス発電)導入	R1以前	R1以前	66,881.0
8	490200	その他	49_その他の削減対 策	太陽光発電導入	R1以前	R1以前	179.0
9	370700	電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	1号抄紙機真空動力削減	R1以前	R1以前	970.0
10	370700	電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	1号抄紙機一次スクリーン改造	R4		930.0
11	370700	電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	1号抄紙機二次スクリーン改造	R4		390.0
12	370700	電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	7号抄紙機真空動力削減	R5		3,880.0
13	370700	電動力応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	5号抄紙機真空動力削減	R4		1,550.0
14							
15							